

長年活用した『SMILE 人事給与』に 各種システムを連携 給与業務の効率化を加速する



導入の狙い

- ・手作業で行っている給与業務の省力化
- ・デジタル化による業務改善

導入システム

- ・基幹業務システム『SMILE V 2nd Edition 人事給与』

導入効果

- ・デジタル化により給与担当者と従業員の双方が利便性を実感
- ・給与業務を省力化するとともにトラブルを防止
- ・勤怠管理のシステム化により給与計算がスピードアップ

USER PROFILE

三友エンジニアリング株式会社

【業種】試験・検査サービス

【事業内容】コンクリート構造物の材料試験／鉄筋ガス圧接部超音波探傷検査／構造実験用試験体製作など

【従業員数】65名(2025年5月現在)



2025年5月取材



紙による勤怠管理から『SMILE V 2nd Edition 人事給与』と各種システムの連携によって給与業務の効率を大幅に向上させた

コンクリートや鋼材の試験・検査などのサービスを提供する三友エンジニアリング株式会社は、使い勝手の良さを求めて給与パッケージソフト『SMILE BS 給与』を導入。任意の期間でデータ集計ができる期間集計表機能をはじめとして、高い利便性を実感している。2024年6月には『SMILE V 2nd Edition 人事給与』にバージョンアップするとともに、『Universal 勤次郎』『Web給与帳Cloud』『オフィスステーション 年末調整』との連携によって、給与業務のシステム化を推進。業務効率の向上を加速している。

社会の基盤を支える コンクリートの“番人”

1980年に創業し、千葉縣市川市に本社を置く三友エンジニアリング株式会社（以下、三友エンジニアリング）は、建築・土木に使用されるコンクリートや鋼材の強度試験や検査、コンサルタントなどのサービスを提供する会社だ。創業当初は、コンクリートの強度を試験・検査するところから事業をスタートした。

「建物や橋、トンネルといった社会のインフラ整備に欠かせないコンクリートは、地震や経年劣化で崩壊しないように定められた強度を保たなければなりません。その基準を満たしているかどうかを確かめるのが私たちの仕事です」と語るのは、業務部の富田 龍徳氏だ。

固まる前のコンクリートである「生コンクリート（以下、生コン）」は、指定された配合で作られて、建設現場へと運ばれる。ミキサー車で最初に運ばれてきた生コンには搬入前に受入試験があり、いくつかの試験のうちスランプコーンと呼ばれる試験器具を使用して生コンの流動性を測る「スランプ試験」が行われる。指定された柔らかさになっているかどうかの確認のためだ。この受入試験を同社が建設会社から請け負う場合は、建設現場に検査員が出向いて実施している。

また、現場で実施する受入試験とは別



本社の構造材料試験所に設置されている、コンクリートの圧縮強度試験の機器

に、コンクリートの品質を確認するために、硬化が見られる4週間後に行われる「圧縮強度試験」は、試験所の登録・認定を受けた試験機関のみが実施できる。それは同社の強みであり、同社が行う試験・検査サービスに対する高い信頼につながっている。各地の建設・土木現場から多くの依頼が寄せられているのも、そのような理由からであろう。

同社のサービスは、新規の建設に対してだけでなく、既存の建物のコンクリートの点検・調査・診断も含まれる。さらに、大手ゼネコンの技術研究所や建材メーカー、大学などからの依頼を受けて、これらのクライアントが設計した実験用コンクリート構造物のミニチュアを製作するサービスなども提供している。これらは千葉市にある試験体制センターがその役割を担っているが、同様のサービスを提供できる技術を持つ会社は、関東では三友エンジニアリングを含めて2社しかないそうだ。

「社会や暮らしの安全に関わる仕事なので、弊社が提供するサービスに対する需要がなくなることはないでしょう。今後も対応可能な試験・検査の種類を増やし、成長を続けていきたいと思っています」と、富

田氏は意気込みを語る。

部門別の管理を可能にした 『SMILE 給与』

10年以上にわたってOSKの『SMILE BS 給与』を活用してきた同社は、数回のバージョンアップを経て、現在は2024年6月に導入した『SMILE V 2nd Edition 人事給与（以下、SMILE V2 人事給与）』が稼働している。

以前は別の給与パッケージソフトを利用していたが、部門ごとの給与計算がうまくできない点も含め、運用に不便さを感じたために刷新を決意した。前述したように、三友エンジニアリングは、新たな建築物に使用されるコンクリートの試験をはじめとしてさまざまなサービスを提供しており、それぞれに担当部門が分かれている。以前のシステムには、これらの部門ごとに給与を計算できる機能が備わっていなかったのだ。

そこで、より柔軟な運用ができる給与システムを探していくつかの候補を比較検討した結果、同社は最も使いやすいと判断したOSKの基幹業務システム『SMILE BS 給与』を選定した。以来、ほかのシステムに切り替えることなく、同シリーズを長年活用している。

業務部
細根 彩七恵氏



「本格的にSMILEを使うようになってからまだ日は浅いですが、帳票類が簡単に表示できて、しかも見やすい点が気に入っています」

三友エンジニアリング株式会社

特に利便性を感じているのは、任意の期間で給与明細書の各項目を集計できる「期間集計表」だという。たとえば、「1月から6月まで」「上期・下期別」というように、設定した期間のデータだけで集計することが可能なので、経営層から「上期の給与支払い状況を知りたい」というような要望があった際にも、即座に一覧表として作成できる。これらは、部門別に集計することも可能だ。実は、以前は『SMILE 給与』からデータを抜き出してExcelで集計して帳票を作成していた。しかし、サポートセンターに問い合わせをして、期間集計表を利用すればそのような二度手間は不要だと教えてもらったという。

「操作に困ったときは、サポートセンターに電話して聞いています。年に一度の社会保険や年末調整の業務の処理方法はどうしても忘れがちですが、すぐに対応してもらえるので非常に助かっています」と富田氏は話す。

給与に関わる作業を 連携システムでさらに効率化

バージョンアップしたことにより、『SMILE V2 人事給与』の活用範囲がますます広がっている。

「社会保険の手続きが、電子申請で行うように変わりました。おかげで手続きのために年金事務所に向く必要がなくなり、とても助かっています。また、40歳からの加入が必要な介護保険は、加入時期がそれぞれ異なるため、うっかり見逃してしまうと大変でしたが、システム上のチェック機能によりそのようなミスを未然に防げるので、とてもありがたいです」と業務部の細根彩七恵氏は評価する。

さらに、給与明細書をWebで閲覧できる『Web給金帳Cloud(以下、Web給金帳)』と、年末調整の負担を軽減する『オフィスステーション 年末調整』の2製品を併せて導入し、作業の効率化を図っている。



建設現場から採取した生コンクリートを詰めた「テストピース」でコンクリートの圧縮強度試験を行う

かつては、袋とじの給与明細書をドットプリンターで1時間以上かけて印刷していた。その後配布作業を行っており、その作業負荷は軽くはなかった。また、印刷途中で誰かに見られる可能性や、支給日前に配ってしまうといった恐れもあった。給与明細書の印刷・配布が不要な『Web給金帳』は、業務の効率化だけでなく、トラブル防止の面からも導入を後押しした。

また、年に一度とはいえ従業員と給与担当者の双方に煩わしさをもたらしていた年末調整作業、これも問題であった。本人への申告内容の確認として前年の扶養控除申告書などのコピーも同封して、全従業員に申告書を配布していたが、それでも申告書は未記入のまま添付書類だけが戻ってくるようなケースも多かった。そのため、SMILEに手入力する前に、担当者が本人に確認するなどの手間をかけていた。しかし、『オフィスステーション 年末調整』の導入後は、メールで案内されたURLにアクセスし、質問に答えていくだけで漏れなく申告書が完成する。給与担当者は、データを取り込むだけ、と双方の負担が軽減された。

「便利になった」という声も多く、デジタル化で会社の雰囲気が変わったと感じる従業員もいるなど好評だ。

勤怠管理も含め、 ITを味方に加速する業務改革

さらに、勤怠管理についても改善を求めて、『Universal 勤次郎(以下、勤次郎)』を導入した。

これまで同社の従業員は、毎日、紙の勤怠表に出勤時刻を書き込み、上長に承認印を押してもらったうえで提出していた。千葉市や浦安市にある拠点では、締め日になると担当者は従業員から集めた勤怠表をまとめて本社へ送付。給与担当の細根氏は、翌日到着した紙の勤怠表から全65名分の出勤日や勤務時間を手計算したうえで、『SMILE V2 人事給与』に手入力していたという。

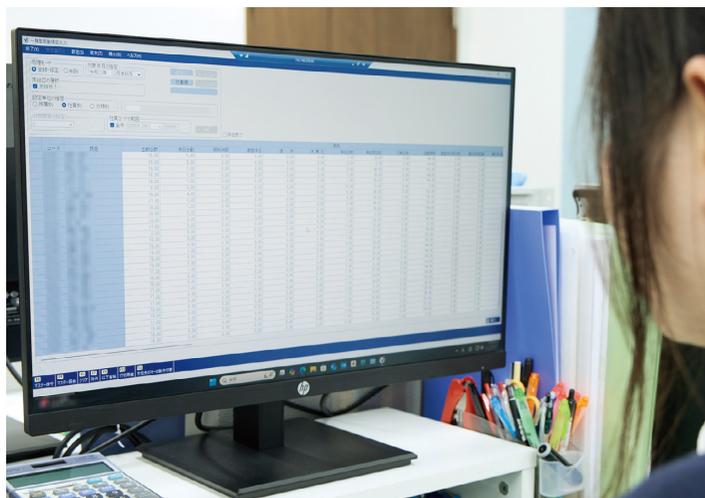
「ほかの業務もこなしながらですが、当時はチェックも含めて5~6日間かけて2名体制で一連の計算作業を行っていました。毎月、給与振り込み手続きの締め切りに何とか間に合わせているような状況でした」と細根氏は振り返る。

しかし、その状況は『勤次郎』の導入で一変した。従業員はスマートフォンやパソコンで出勤時刻を打刻するだけ、細根氏は毎月1回『勤次郎』の勤怠データを取り込むだけ、と手作業は激減。もちろん確認作業が不要となったわけではないが、

三友エンジニアリング株式会社

業務効率が格段にアップしたことは間違いない。

給与に関わる業務改善は大きく進んでいる。今後は、『SMILE V2 人事給与』の人事機能について積極的な活用を進めていく方針だ。さらに、統合型グループウェア『eValue V 2nd Edition』を導入し、住所変更や扶養者変更といった手続きをワークフローで行い、『SMILE V2 人事給与』に連携する構想もあるという。三友エンジニアリングの業務変革は、ITの活用を伴いながら今後も進んでいく。



「SMILE V2 人事給与」の一覧型変動項目入力機能では、残業代や各種手当、控除項目などをまとめて入力できる



三友エンジニアリング株式会社のホームページ
<https://sanyu-eng.co.jp/>

お問い合わせ

・会社名、製品名などは、各社または各団体の商標もしくは登録商標です。
・事例中に記載の肩書きや数値、固有名詞等は取材当時のものであり、配付される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。
・この記載内容は2025年8月現在のものです。
Copyright©2025 OSK Co., LTD. All Rights Reserved.

株式会社OSK
マーケティング本部
〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1
TEL:03-5610-1651 FAX:03-5610-1692
<https://www.kk-osk.co.jp/>